

かがわ医療福祉総合特区<島しょ部における地域医療安定化事業>

(規制緩和の特例提案(平成29年度～実施中))

特区の主な目標

医療従事者がより活躍できる環境整備により、
全ての県民が、常に質の高い医療・福祉を享受し、
地域で安心して暮らせる香川県の実現

特区における効果

- 小豆医療圏における二次医療の地域内完結に寄与
- 島しょ部における医療従事者の確保に貢献
- 地域医療の持続性を促進

事業イメージ

国における医療の方向性

高齢化による医療需要に対応した
病床の機能分化・連携の強化

市町の取組

- ・小豆医療圏における公立病院を再編
- ・島内唯一の総合病院である
小豆島中央病院を開院

香川県地域医療構想

小豆島中央病院を中心として
急性期から慢性期、在宅医療等まで
島内で安定的に提供できる体制を構築

2025年に向けた地域 (小豆島中央病院)の 抱える課題



- ・回復期病床の
不足
- ・二次医療の他医
療圏への流出
- ・元より不足する
医療人材の柔軟
な配置

かがわ医療福祉総合特区における取組

規制緩和による柔軟な病床設置

医療資源の少ない島しょ部の病院における
診療報酬上の地域包括ケア病床の設置基準
に関する緩和の提案

特区(規制緩和提案)活用による課題の解決

規制緩和による柔軟な人員配置

医療資源の少ない島しょ部の病院における
人員配置基準に関する緩和の提案